

主な特長

ロータリーコマンダーを使うと、ワイパーやライトのスイッチを操作する感覚で、接続している機器を操作することができます。

本機専用の入力端子を持つマスターユニットに接続してお使いください。

ご注意

ロータリーコマンダーRM-X38/X33/X32、EZコマンダーRM-X1S対応の機器では本機は使用できません。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

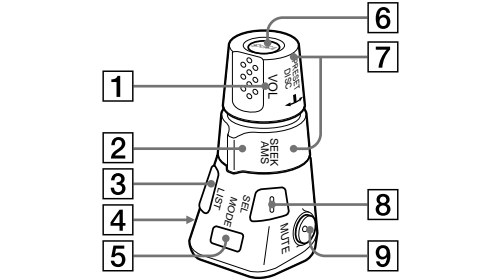
部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

各部の名称と動き

マスターユニットに^{サウンド}SOUNDボタンがある場合は、マスターユニットの取扱説明書をご覧ください。



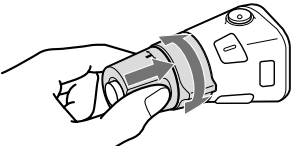
- VOL(音量調節)つまみ**
^{ボリューム}シーク ^{ローエムエス}SEEK/AMSつまみ
CD/MD/テープ再生中
●AMS* 機能(曲の頭出し)
再生中に、とばしたい曲の数(現在再生中の曲を含める)だけ短くまわします。連続して曲をとばすには、1回短くまわしたあと、1秒以内にもう1回まわし続けます。聞きたい曲で離します。
^{オートマチック ミュージック センサー}* Automatic Music Sensor の略称です。
- マニュアルサーチ**
曲の聞きたいところまでつまみをまわし続けてください。
- ラジオ受信中**
●自動選局
聞きたい局を受信するまで何回か短くまわします。
●手動選局
まわし続けます。
- LISTボタン(カスタムファイル対応の機器)**
^{リスト}カスタムファイルモードの切り換えやリスト表示を行います。
DSPLボタン(カスタムファイル未対応の機器)
^{ディスプレイ}表示モードの切り換えや時計合わせを行います。
接続しているマスターユニットの機能によってシールを貼ってください。マスターユニットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- OFF(電源切り)ボタン**
^{オフ}モード
- MODEボタン**

テープ再生中	テープの再生面を切り換えます。
CD再生中	CDチェンジャーを切り換えます。 (複数のチェンジャーを使う場合)
MD再生中	MDチェンジャーを切り換えます。 (複数のチェンジャーを使う場合)
ラジオ受信	プリセットグループを切り換えます。(例: FM1 ↔ FM2)
テレビ受信*/ビデオ再生	テレビとビデオを切り換えます。

* テレビチューナーを接続した場合

次の各つまみ/ボタンは、接続している機器や、ワイヤレスリモコンのボタンと同じ動きをします(SOURCE、MODEボタンを除く)。
各つまみ/ボタンの機能についてくわしくは、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。

- SOURCEボタン**
^{ソース}ボタンを押して各プログラムソース(FM、AM、テレビ、テープ、CD、MDなど)を選びます。
- PRESET/DISCつまみ**
^{プリセット ディスク}つまみを押しながらかわします。(VOLつまみとSEEK/AMSつまみが一緒にまわります。)



テープ再生中

テープの早送り／巻き戻しをします。MODEボタンを押すと、通常の演奏に戻ります。

CD/MD再生中

ディスクを切り換えます。(CD/MDチェンジャーを接続している場合)
ラジオ/テレビ受信
プリセットナンバボタンに設定した放送局を順に受信します。(プリセットサーチ)

- SEL(調節モード切り換え/文字設定)ボタン**
^{セレクト}接続しているマスターユニットのSELボタンと同じ動きをします。
- MUTEボタン**
^{ミュート}一時的に音量を小さくしたいときに押します。もう1回押すと、もとの音量に戻ります。

主な仕様

寸法	約 43×83×49 mm(幅/高さ/奥行き)
質量	約 70 g
付属品	ネジ(2) 取り付け台(1) クランパー(1) シール(6) 取扱説明書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

ロータリーコマンダー

取扱説明書

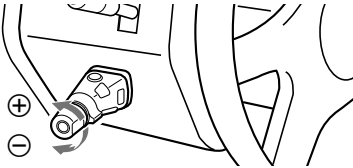
お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこと
もありますので、必ず保存してください。

RM-X2S

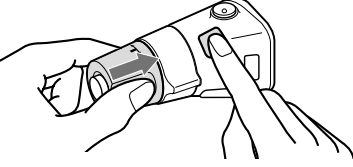
Sony Corporation © 1994 Printed in Taiwan, R.O.C.

つまみの操作方向について

本機のVOL、PRESET/DISCおよびSEEK/AMSつまみの操作方向は、あらかじめステアリングカバーの左側に取り付けることを想定して左回りが+となるように設定されています。



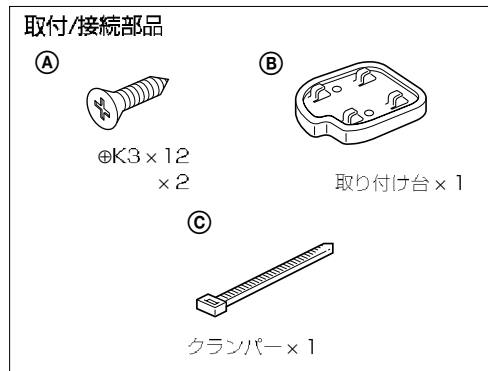
VOL、PRESET/DISCおよびSEEK/AMSつまみの操作方向は逆にすることができます。取り付ける場所により操作方向に違和感がある場合は、切り換えてください。
VOLつまみを押しながらかSOUNDまたはSELボタンを2秒以上押します。
(マスターユニットのリセットボタンを押すと、操作方向は購入時の設定に戻ります。)



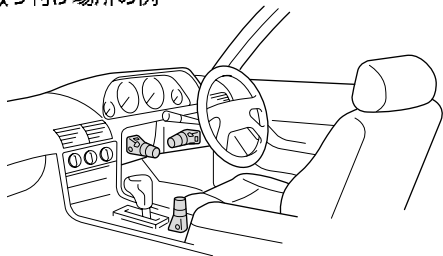
取り付けと接続

取り付ける前に

ステアリングコラムカバー、ダッシュボード、センターコンソールなどの操作しやすい場所に取り付けてください。



取り付け場所の例



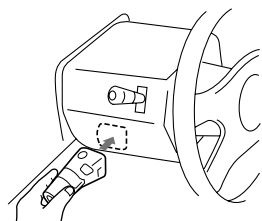
ご注意

- 運転の妨げにならない場所(ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所)に取り付けてください。
- 同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けしないでください。
- 取り付けるとき、車の配線コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
- 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けしないでください。

取り付け(例:ステアリングコラムカバーに取り付ける場合)

1

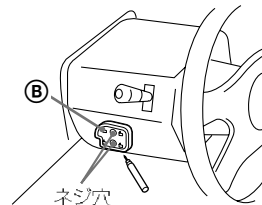
取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにします。



ごみや油などが表面に付着していると、両面テープの接着力が低下します。

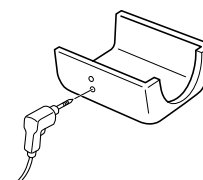
2

取り付け場所に、ネジ穴用の印を付けます。印を付けるには、取り付け台②にあるネジ用の穴を使います。



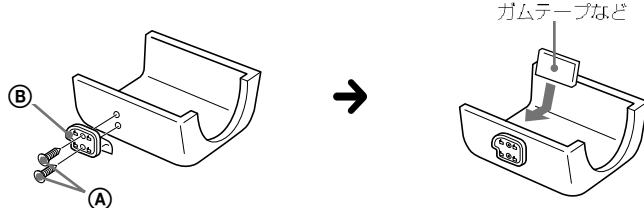
3

コラムカバーをはずし、印をした場所にφ2mmのネジ穴を開けます。



4

取り付け場所の表面と取り付け台②の両面テープを20～30℃に温め、ネジ位置と合わせながら取り付け台を強く押し付け、接着します。そのあと、付属のネジ①で取り付けます。

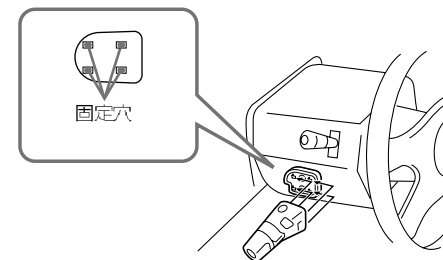


ガムテープなど

ネジを締めたあと、コラムカバー裏側に飛び出したネジの先端をガムテープなどで覆い、コード類の損傷を防止してください。

5

ステアリングコラムにコラムカバーを取り付け、コマンダー底面にある固定穴(4か所)を取り付け台のツメの部分に合わせ、コマンダーを取り付けます。

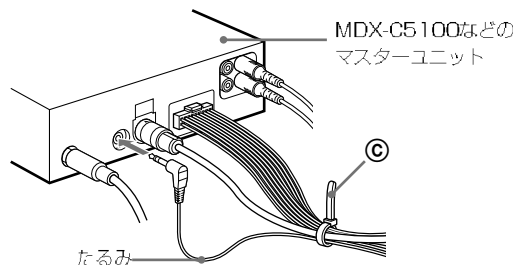


ご注意

ステアリングコラムにコラムカバーを取り付けるとき、取り付け台を固定しているネジとステアリングの回転部分や、操作レバーの作動部分、コード類などが接触していないことを必ず確認してください。

接続

ロータリーコマンダーのプラグを、接続する機器(MDX-C5100など)の裏面にあるロータリーコマンダー入力端子に接続してください。

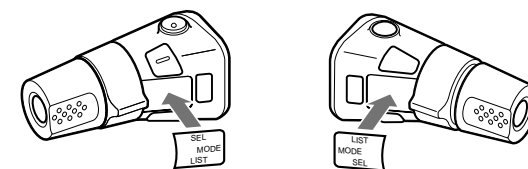


接続後、コマンダーのプラグが抜けないように、コードにたるみをつけ、付属のクランパー③で他の接続コードと一緒に束ねてください。

シールについて

本機には、ボタン名称のシールが6枚付属されています。接続するマスターユニットの機能および、本機を取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

くわしくは、マスターユニットの取扱説明書の「ロータリーコマンダーのシールについて」をご覧ください。



取り付ける向きに合わせてシールを貼ります。